「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日　時：平成28年5月27日(金)　9:40～12:20

 場　所：安来市立赤江小学校　会議室・体育館

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　対　象：安来市立赤江小学校６年生　49名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者：宮本（埋蔵文化財調査センター）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｔ１荒金・Ｔ２瀬川・（　　）

１．主　題　　「ふるさと安来の古代の歴史に触れよう　～弥生時代から古墳時代を中心に～」

２．ねらい

　○身近にある墳丘墓や古墳や出土した副葬品から、古代には栄えた土地であったことを知り、地域の歴史や文化財への興味・関心を高めるとともに、ふるさと島根や安来に対する誇りや愛情をもつ。

　○はにわづくりを行うことにより、古代の人々の知恵や願いについて考える。

３．展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時刻 | 主な学習活動 | 指導者の支援・留意点 | 準備物 |
| 9:40 9:5510:25  10:45 11:1011:5012:10 | １．学習活動の見通しをもつ。　　　　　　　　　　　（会議室）・ＧＴの紹介・学習の流れをつかむ。２．赤江小周辺の遺跡について学ぶ。　　　　　　　　　　　（会議室）・四隅突出型墳丘墓や古墳の紹介（仲仙寺、宮山、塩津山、造山古墳、大成古墳　等）～休憩・準備～３．副葬品などの遺物や「はにわ」について説明を聞き、見学する。（体育館）４．はにわづくりに挑戦する。　　　　　　　　　　　 （体育館）・片付け５．学習を振り返り、感想を発表する。 | ・ＧＴの紹介（Ｔ１）（埋文センターのことや仕事の内容・成果などについて簡潔に）・学習の流れを明確につかむために、だいたいの流れを提示し、説明する。（Ｔ１）・身近にある墳墓や古墳の画像や、出土した遺物などの資料を見せながら、古代の赤江（含、荒島）地域の様子を紹介する。　　　　　　　　　　　　　　　（ＧＴ）　　～休憩・準備～・遺物についての大まかな説明をする。・副葬品などの遺物を２カ所に分けて展示し、ブースごとに説明をする。（ＧＴ、Ｔ１・Ｔ２）・作り方の説明をするとともに、古代の人々の思いや願いについて考えることができるようにする。（ＧＴ）・支援の必要な児童に声をかける。　　　　　　　　　　　　（Ｔ１・Ｔ２）・古代の人々の工夫や思いなどを取り入れた作品を紹介しながら、思いや理解を深めるようにする。（ＧＴ、Ｔ１・Ｔ２）・分かったことや楽しかったことなどを、積極的に発表できるよう、サポートする。　　　　　　（ＧＴ、Ｔ１・Ｔ２） | 予定表遺物ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰスクリーンＰＣ資料長机(4?)遺物ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰスクリーンＰＣﾌﾞﾙｰｼｰﾄ新聞粘土用ヘラ |

４．準　備

　○赤江小：粘土板、粘土用ヘラ、雑巾、プロジェクター、スクリーン、ＰＣ、長机４台、

　　　　　　ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ

　○児　童：筆記用具、体操服、水入れ

　○埋文センター：遺物、遺跡・遺物関連資料、はにわの見本、はにわ用粘土、粘土芯、のばし棒、

　　　　　　　　　施文具、アンケート用紙　ほか